



たがみ

農業委員会 第32号

だより



■ 令和8年1月19日発行
■ 発行 / 田上町農業委員会
■ 発行人 / 会長 須佐 剛

TEL 57-6226
■ 印刷所 / 阿部印刷株式会社



9月26日 半年かけて育てた田上の宝石

ごあいさつ



田上町農業委員会
会長 須佐 剛

新年あけましておめでとうございます。
昨年、猛暑や少雨により渇水対策が必要になるなど、稲の品質が大変心配されましたが、一転して8月に入り雨が降り、JAが発表している田上地区のコシヒカリの一等米比率は約「96%」となったそうです。そして、収量もまずまずであったことを考えると、過去の苦い経験を糧に農業者の努力が実った年であったと思っております。

一方で、米価が高騰し、先行きが見通せない状況になっていることに対しては、少しでも早く、消費者と農業者が納得できる適正な価格に落ち着くことを願うばかりです。

さて、令和7年3月に、地域計画が策定され、それにもない農地の貸借方法が変わりました。農業者及び土地所有者の方には、地域計画の説明会の際に、記載例を配布するなど、制度への理解を深めて頂けるよう多くのお願いをさせていただきましたが、皆さまからの協力のもと新制度へ円滑に移行できたことに感謝申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

今年、施設園芸の先進地でもあり、また、畜産が盛んで耕畜連携を図りながら稲作に取り組んでいる宮崎県へ視察研修に行きました。

1か所目は、マンゴーとアボカドを栽培している「横山果樹園」を訪れ、J Aみやざき宮崎中央地区本部（以降宮崎中央地区本部）マンゴー部会長でもある横山氏より説明を受けました。横山氏の経営面積は施設園芸のみの約1haとのことでしたが、両作物において宮崎県内では象徴的な方らしく、テレビの取材や農業団体の視察も頻繁に受け入れているそうです。

R7年度宮崎中央地区本部内のマンゴーの栽培面積は約26ha、出荷量約376t、販売単価約4,500円/kgだったそうです。



農業委員
塩原富士夫

年前から比較すると出荷量で30t、販売単価で600円/kg程度増えており、産地としてもまだまだ拡大しているとのことでした。

マンゴーのハウスに入ると、剪定されたマンゴーの枝が紐で吊られていました。1本の木に300以上の花が咲くので受粉はミツバチを放ち、意外なことに夏場の夜温を15℃以下にしなければならぬなど、我々が見当もつかない作業



マンゴー栽培の様子



希少な国産アボカド栽培施設

があり、夏にこそ光熱費がかかることに驚きました。

次に、アボカドのハウスに入ると、水の入ったペットボトルが転がっていたのですが、これは成木の枝を引っ張って意図的にストレスを与えることにより花の数を増やすための工夫とのことでした。国産のアボカドは希少価値が高く、横山氏は、2,000個、6,000円/個のものを直販されているようです。「将来を見越した挑戦」との言葉どおり、栽培技術は、手探り状態で、育てても果実が

令和7年
11月19日~21日

農業委員会視察研修報告

◆横山果樹園（宮崎県宮崎市）
◆J Aみやざき 宮崎キャトル（宮崎県宮崎市）



各種申請書の 締切は毎月15日

農地法第3条、第4条、第5条の許可申請受付、農用地利用集積等促進計画は毎月15日（土日祝日の場合は前の日）が締切です。

締切後の提出は、翌月の審議となります。なお、農用地利用集積等促進計画を利用した契約は処理に約4ヶ月程度必要です。

令和6年度利用権設定等の実績

(R6. 4. 1~R7. 3. 31)

利用権 設 定	新 規	37件	268,693.51㎡
	再設定	203件	1,313,082.30㎡
利用権移転		—	—
所有権移転		2件	10,916.00㎡

相続等により農地を取得した方 届出が必要です

相続等により農地を取得した方は、農地の所在する農業委員会に届出が必要です。

届出様式は、町のホームページからダウンロードできますし、農業委員会事務局にもあります。

令和7年農地の移動状況

(R7. 1. 1~R7. 12. 31)

農地法第3条	16件	61,757.5㎡
農地法第4条	4件	1,221㎡
農地法第5条	4件	2,451.48㎡
事業計画変更	—	—
適 用 外 等	—	—
農地法による届け出 (相続・解約等)	101件	761,350.1㎡

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

全国農業新聞

週刊 月4回金曜日発行
月700円 年8,400円(税込)

■購読の申込みはお住いの市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。

■発行所
一般社団法人
全国農業会議所
〒102-0084
東京都千代田区二番町9-8
中央労働基準協会ビル2F
☎ 03-6910-1130
FAX 03-3261-5132
✉ gyomu@nca.or.jp
https://www.nca.or.jp/shinbun

■令和8年4月より、購読料が下記のとおり改定されます。
月額900円 年額10,800円(税込)



耕畜連携による堆肥づくり

たくさんなる木もあれば、ほとんど実をつけない木もあるとのことでした。

田上町では、稲作を中心とした複合経営の農家がほとんどだと思いますが、横山果樹園のような施設園芸の収益の高さを聞き、田上町の農家のヒントになるのではないかと思います。こういった新しい挑戦を若い担い手に期待したいです。

2か所目は、宮崎中央地区本部が直接運営をしてい

る「宮崎キャトル」を視察しました。肉牛の繁殖から肥育を行う施設です。

この施設はH26年に設立されたのですが、宮崎中央地区本部管内の肉牛繁殖農家戸数が、H16年の1134戸から、H23年には747戸に減少したことで、宮崎の畜産業を守るためJAが立ち上げたものです。

宮崎キャトルでは、子牛448頭、母牛12頭、肥育牛48頭が飼育されています。施設の運営は4名で行い、餌は7/8割が輸入に頼っているとのことですが、施設の周りは飼料用作物を栽培しており、牛の排泄物は堆肥として、700円/300kgで農家に還元するなど、耕畜連携により水稻農家との資源の循環もされているとのことでした。

最後に、車窓からは、田上町と異なり、圃場整備がされていない小區画で、飼

料用作物が刈り取られた水田が多く見られました。また、11月というのに大変温かく施設園芸の盛んな土地柄もあり、ハウスが連棟している風景が印象的でした。

今回、我々の視察を快く受け入れて頂いた横山果樹園様とJAみやざき様には、感謝の気持ちで一杯です。10年前より10種類のアボカド栽培を始め、マンゴーだけに頼らない経営努力に感銘を受け、JAが宮崎キャトルのような稲作版の設立に携わってくれることを願う視察研修でした。

※JAみやざきは、宮崎県内の13JAがR6年に合併し、その後中央会、経済連、信連、畜連が統合した県域JAで、全国でも初めての組織とのことでした。

農地転用は許可が必要です！

◆農地転用とは：

農地を宅地などの建物敷地、駐車場、資材置場等の用地に転換することです。

◇自分の農地を転用するとき

農地法第4条の許可が必要です。

農地の所有者が申請します。

◇農地の売買や貸借により転用するとき

農地法第5条の許可が必要です。

農地の所有者と転用を実行する者が連名で申請します。

※申請にあたっては、事前に農業委員会へご相談ください。また、申請書や申請に必要な添付書類等については、町のホームページに掲載しています。



農地パトロールの様子

農業委員会では、農地パトロールを実施し、遊休農地、違反転用、不法投棄などがないか現地を調査しています。転用の際は、許可を得ずに農地を農地以外に利用することはできません。

農地の草刈りをしましょう！



春から夏にかけて雑草が伸びる季節です。農地の草刈りをせずに放置すると病害虫の発生、火災やゴミの不法投棄などの原因となり、近隣の住民や農地に悪影響を及ぼします。また、農地は一度荒れてしまうと元の状況に戻すために大きな費用と労力が必要となります。定期的に草刈りを行うことで農地を適正に管理していきましょう。

農業者年金



長生きをマイナスにしたくない。

農業者のための年金が

あるなら入りたいと思う。

6つのメリット

農業者は広く加入できる

終身年金。

老後を最後までサポート

全額社会保険料控除で
大きな節税効果

保険料が自分で選べて、
いつでも見直せる。

条件を満たせば、
月額最大1万円の国庫補助

少子高齢時代に強い積立方式・
確定拠出型の年金



詳しくは… <https://www.nounen.go.jp> 独立行政法人農業者年金基金

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

田上町農業委員会 TEL 0256-57-6226 / JAえちご中越 田上支店 TEL 0256-57-2181

TEL : 03-3502-3199 (専門相談員)

TEL : 03-3502-3942 (企画調整室)

